

## ○「平成21年度福島県農業工学系教職員研修会」

去る8月6日（木）に県内の農業工学系教職員の方々を対象に現場見学会を行いました。

この研修会は、平成3年より県内の農業工学系の高校の先生たちが、実際の工事現場や施設を見学・体験し、生徒指導に役立てようと、「社団法人 福島県建設業協会」の協力を受け県内の工事現場や実務作業に関連する施設の見学会を実施しているということで、今回は協会から当事務所に見学依頼があり、県北浄化センター及び管渠の工事現場を見学して頂きました。

### 1 処理場

まず始めに、下水処理の仕組みや施設の概要について理解していただくため、処理場で最も高い建物である「新汚泥処理棟」の屋上に登り、処理場の敷地全体を見渡しながらそれぞれの施設の役割や概要、下水処理の仕組みについて理解していただきました。



続いて、処理工程の1つである「汚泥処理」について説明し、処理を行う機械設備「汚泥脱水機」を見ていただき、水処理の過程でできた汚泥の処理の仕組みやその処分状況について理解していただきました。

さらに、現在処理場内で工事を行っている現場の見学として、汚泥処理棟増築工事現場の1階に入り、工事中の建築現場を見学していただき、増築の理由や工事の概要について理解していただきました。

水処理施設では、下水処理施設の仕組みのメインとなる汚水が微生物によりきれいになっていく工程を処理の順序に沿って見学していただきました。

引き続き、増加する流入量に伴い、現在増設中の水処理施設内部のプラント機械の設置工事現場を見ていただきました。



## 2 管渠工

続いて管渠工事では、現在工事を行っている現場の1つである「古新田工区」を見ていただきました。

この古新田工区は、先月まで推進工事が行われ、現在、人孔（マンホール）設置工事を行っており、約14mほどの深いたて穴が空いた状態になっています。

まず、先日完了した推進工事の流れについて写真とあわせて説明を行い、下水道の管を作っていく様子を見ていただきました。

続いて、工事中の人孔工事地上部分から地下での作業の状況を見学していただきました。



### ○研修会の感想

今回の研修に参加した教員を代表して、福島修明高校 大竹校長先生より、「下水道施設は重要な役割を担っていることは十分理解しているが、なかなか接する機会がなく、実際に見学し、施設を作るための工事や、運転や維持管理にみなさんが一生懸命従事されていることが分かりました。この貴重な経験を生徒たちにも伝えていきたい。」とのお話がありました。



**研修会お疲れ様でした！**



※ 今回のような見学会は随時行いますので、希望の方は当事務所まで連絡くださいますようお願いいたします。